



令和8年3月23日

松江市立古江小学校学校だより（文責 校長：青山 巧）

巣立ちゆく6年生！ 素敵な卒業証書授与式でした！

3月17日に卒業証書授与式を挙行し、6年生39名が古江小学校を巣立って行きました。当日は快晴、無風の絶好の天気となり、こどもたちの門出を祝福してくれているようでした。（6年担任のK教諭は「晴男（はれおとこ）」を自認し、常日頃からアピールしていましたが、この1年間6年生のこどもがかかわる行事は本当に全て天気に恵まれており、認めざるを得ません。）

当日は、体調不良で欠席する児童が卒業生にも在校生にもいましたが、それを感じさせない呼びかけでの流れのスムーズさと、体育館中に響くすてきな歌声で、来賓としてご臨席いただいた学校運営協議会藤原会長からは、「100点満点で200点！」と最大の賛辞をいただきました。私自身も予行練習で不安を感じていたいくつかの点も改善されて、それぞれの担当が今日の日を迎えるにあたり、こどもたちにしっかり話をして、気持ちを込めた式になったと感慨ひとしおでした。

小学校卒業という一つの節目を迎えた卒業生。春休みは、東の間の休息と、中学校への心と身体の準備をし、一人一人が自分の夢に向かって動き出せる中学校生活のスタートが切れることを心より願っています。卒業おめでとうございます。



上の写真は教室での最後の練習時。表情もどこか余裕を感じます。下の写真は式本番。表情も引き締まり凛々さを感じます。



式辞では、卒業生に「続ける力」と「変わる勇氣」を驢（はなむけ）の言葉として贈りました。続けることで得るもの、変わることで得るもの、それぞれあるはずですが、大事なものは、自分でしっかり考えて、決断し、やり遂げること。結果は必ずしも報われなくても、過程を通してつけている力は必ずあるはずですが、正解が分からないことがたくさんあるだろうこれからの社会でもがきながらも、自分自身を見つめ、自分の意思で歩み続けることを心より願っています。

感 謝

～ 大変お世話になりました ～

明日3学期の修了式を終えると、令和7年度が幕を閉じます。今年度も保護者の皆様、地域の皆様に支えていただき、本校教育活動が予定通り、且つ、充実した内容で実施できたことに改めて感謝申し上げます。

本校教職員は、226名の児童一人ひとりに真摯に向き合い、子どもたちの健やかな成長を願い、教育の専門的な集団としての自覚と責任と誇りをもって日々学校教育に取り組みました。しかしながら、時には苦しむ子どもを救うことができなかつたり、十分な支えになることができなかつたりと、保護者の皆様や地域の皆様にはご心配やご迷惑をおかけしたことも少なからずありました。申し訳ございません。

そういった中でも、皆様が温かく見守ってくださったり、快くお力を貸していただいたりしたおかげで、子どもたちの「ふるえがお」へとつながる教育活動が着実に浸透してきているように感じています。本当にありがとうございました。

私事ですが、文書でお知らせしたように、今年度をもって古江小学校を離れることとなりました。平成9～11年は教諭として、令和5～7年は校長として、合計6年間を古江小学校で勤めさせていただきました。古江地区の皆様が学校を大事にしてくださっている文化のおかげで充実した毎日を過ごすことができました。特に校長としての3年間は、保護者や地域の皆様と接する機会も多く、古江小のことを、子どもたちのことを、本当に愛してくださっていることを痛切に感じております。

6年間という小学校の教育課程と同じ年数を古江小で過ごしたことで、私自身も卒業証書をいただき、新たなステージで頑張るように背中を押されたような気がしています。

保護者の皆様、地域の皆様には、新しい校長先生が赴任されても、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

今年度子どもたちと一緒に登校した回数は明日の予定も含めて167回。有休や出張、朝からの自習対応以外は、ほぼ毎日子どもたちと歩くことができました。長江地区で交通指導員をしてくださっている南波さんは、「校長先生がいるといつもと違うな。」と笑顔で話してくださいます。見守りの方には、「校長先生と一緒にだとあいさつの声も大きくなる。」(本当はよくないことですが)と教えてくださいました。校長と一緒に歩くことで、朝の億劫な気持ちが少しでも和らいでくれているかなと思いつつ歩いていました。(緊張して無口になる子中にはいます。)

この3年間子どもたちと一緒に歩いた回数は合計489回。距離にすると約2000kmになりました。たくさん子どもたちと他愛もない話をし、地域の人と短い言葉を交わす時間は、私にとって楽しいひと時であり、貴重な時間でもあり、朝の仕事スイッチを入れる時間でもありました。

「嫌になったり、面倒くさいなと思ったりすることはありますか？」と聞かれることもありました。正直本当に一度も思ったことはありません。但し、4月から一人で歩き続けるのかと考えると、モチベーションが下がっている自分もいます。歩くのが好きではなく、子どもとふれあうことが好きだから続いたのだと自覚しました。

令和8年度から、義務教育学校への統合に向けた準備が本格的に始まります。学校では、4年生で行っている小小交流の他学年への拡充、3校間の学習カリキュラムの確認と調整、ふるさと教育の検討等が、保護者の皆様にはPTA組織の在り方や閉校に向けた準備などをお願いしなければいけないと考えています。

古江小学校での有終の美、学校名も決まっていなかった義務教育学校の輝かしい未来に向けて走り出します。